

資 料 4

H26.10.23

地域包括支援センター事業について

平成 26 年度福祉総合相談センター（地域包括支援センター）関係資料

1. 平成 26 年度事業目標	…2
2. 地域包括支援センター事業	
(1) 介護予防ケアマネジメント事業	
①介護予防ケアマネジメント事業（二次予防事業）	…4
②介護予防支援事業（要支援認定者）	…5
(2) 総合相談事業	
①総合相談事業	…6
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業	
①地域ケア会議	…7
②介護支援専門員等の支援	…8
(4) 権利擁護事業	
①成年後見制度利用支援事業	…9
②高齢者虐待防止事業	…10
(5) 地域包括支援センター・サブセンター委託事業	…11
3. 在宅ケア推進事業	
(1) 認知症高齢者家族のつどい事業	…12
(2) 認知症サポーター養成事業	…13
(3) 介護用品支給事業	…14
(4) 介護相談員派遣事業	…15
(5) 家族介護教室事業	…16
(6) 家族介護者等支援交流事業	…17
4. 地域包括ケア推進関係	
(1) 福祉総合相談事業	…18
(2) 地域づくり推進事業	
①地域とのネットワークづくり	…19
②専門職とのネットワークづくり	…20
(3) 生活困窮者支援モデル事業	…21
(4) 介護度重度化防止対策事業	…22

○平成 26 年度福祉総合相談センター重点目標

介護予防ケアマネジメント事業関係

1. 介護予防の普及啓発を行い、対象者を把握して必要な支援を行う。
2. 介護度重度化防止推進員により、各地区での介護予防の取組みを普及させる。
3. 介護予防ケアマネジメントを実施して適正な介護予防サービス提供につなげる。

総合相談支援事業関係

1. 相談窓口のPR活動を継続して、多くの対象者に周知活動を行う。
2. 福祉総合相談センター・天津小湊及び関係機関等との連携を図る。

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業関係

1. 介護支援専門員への研修会や個別支援を行い、ケアマネジメント能力の向上を図る。
2. 介護支援専門員及び介護サービス事業所が、医療と連携しやすい体制づくりを行う。

権利擁護事業関係

1. 高齢者虐待防止への個別対応を充実させ、早期解決に向けた支援を行う。
2. 鴨川市虐待防止ネットワーク推進会議等のネットワークを生かして、個別支援への協力を得ていく。
3. 成年後見制度の利用普及に向けて、相談支援及び普及啓発活動を行う。
4. かもがわ広域後見センターとの連携強化

地域ネットワーク構築事業関係

1. 地域見守りネットワークの構築を行う。独居高齢者等の安否確認のほか、災害時の対応について検討を行う。
2. ふれあいセンター他部署及び社会福祉協議会等との連携により、個々の支援及び地域団体等への支援を行い、顔の見える関係づくりを行う。
3. 地域見守り体制づくりとして、家庭を訪問する等の民間事業者と地域見守り協定等の締結により地域見守り体制の構築に取り組む

在宅ケア推進事業関係

1. 家族介護者への支援として、認知症高齢者家族のつどいや家族介護交流支援事業及び介護者教室を開催する。新規参加者が増加するように開催場所や内容の充実を図る。
2. 認知症高齢者支援のため支援体制について検討していく。認知症の啓蒙活動として、認知症サポーター養成講座を開催する。

福祉総合相談支援事業

1. 児童・障害者・高齢者・DV・生活困窮者等の対象者を問わないワンストップ相談の受付を推進するため、各種研修会などを通じて職員のスキルアップを行う。
2. 福祉総合相談センターの周知活動を行う。
3. 児童虐待・障害者虐待・高齢者虐待・DVへの対応を適切に行う。

地域包括支援センター・サブセンター委託事業

1. 地域住民や関係機関（警察・保健所・民生委員等）に相談窓口の周知を図り、相談のつながりやすい体制づくりを行う。
2. 24 時間対応及び支援困難ケースなど、福祉総合相談センター・天津小湊と協力を図りながら解決に向けて取り組んでいく。

	地域包括支援センター事業
事業名	介護予防ケアマネジメント事業（二次予防事業）
事業概要	要介護・要支援状態となる恐れの高い高齢者に対して介護予防事業を実施することにより、要介護状態となる事を予防して地域にて自立した生活が送れるように支援を行う。
本年度目標	二次予防事業対象者に対して、運動器の機能向上訓練への参加を促し、適切な介護予防ケアマネジメントを実施する。また、事業終了後も自立した生活が送れる様にフォローしていく。
実 績 (H26.9 末)	平成 26 年度介護予防事業参加者数 *福祉総合相談センター 3 名 *鴨川市福祉総合相談センター・天津小湊 6 名 <u>計 9 名参加予定</u> *アセスメント及び支援計画書を作成した後に、3 ヶ月を 1 クールとして事業実施。
課 題	介護予防事業への参加者だけでなく、各地区サロンや活動を通じて介護予防の重要性の周知を図っていく。

	地域包括支援センター事業
事業名	介護予防支援事業（要支援認定者）
事業概要	要介護認定にて要支援認定を受けた高齢者等に対して、介護予防ケアマネジメントを実施し、適切な介護予防サービスが提供して自立した生活がおくれるように支援する。
本年度目標	委託事業所に対して、介護予防ケアマネジメントの必要性を理解してもらい、本人の自立を目的としたサービス提供となるようにする。
実 績 (H26.9 末)	・福祉総合相談センター 291 件 委託 749 件 委託率 72% ・福祉総合相談センター・天津小湊 293 件 委託 309 件 委託率 51% 《内訳》 （福祉総合相談センター）【福祉総合相談センター・天津小湊】 ・さくらケアサービス (79 件) 【84 件】 ・小田介護支援サービス (119 件) 【28 件】 ・石川ケアマネセンター (47 件) 【37 件】 ・東条介護サービス (41 件) 【32 件】 ・エビハラ訪問看護ステーション (4 件) 【7 件】 ・エビハラ在宅介護支援センター (74 件) 【24 件】 ・居宅支援事業所ふく笑らい (60 件) 【6 件】 ・ふれあい介護支援サービス (71 件) 【16 件】 ・すみれケアサービス (45 件) 【26 件】 ・ウテナ、ケアプランサービス (26 件) ・有限会社レモン企画 (15 件) ・ヤックス鴨川訪問介護支援センター (51 件) 【6 件】 ・太陽会ケアプランセンターOHANA (35 件) 【19 件】 ・鴨川市国保訪問ステーション (9 件) ・フローラケアマネセンター (18 件) 【17 件】 ・うらら在宅介護支援センター (6 件) ・中原居宅支援事業所 (7 件) ・介護支援ひとつ (36 件) ・ヤックスケアセンター館山 (6 件) ・居宅介護支援センターよしとも 【6 件】 ・居宅介護支援事業所栗の郷 【1 件】
課 題	*介護支援専門員により考え方に差が生じている。介護予防ケアマネジメントが適切に実施できるように、研修会や個々の指導を継続して行う必要がある。介護予防ケアマネジメント研修（介護支援専門員 26 名参加）

	地域包括支援センター事業																																																															
事業名	総合相談事業																																																															
事業概要	地域包括支援センターとして、地域にて生活をする高齢者等のあらゆる相談を受付して、地域にて安心した生活が送れるように支援をする。																																																															
本年度目標	福祉総合相談窓口について各地域や関係機関への周知を図っていく。関係機関との連携を図りながら、あらゆる相談への支援が実施できるようになる。																																																															
実 績 (H26.9 末)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>制度 サー ビス</th><th>独 居</th><th>認 知 症</th><th>介 護 保 険</th><th>施 設 入 所</th><th>医 療</th><th>生 活 全 般</th><th>家 計 経 済</th><th>高 齢 虐 待</th><th>権 利 擁 護</th><th>そ の 他</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鴨川</td><td>57</td><td>16</td><td>12</td><td>25</td><td>12</td><td>11</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>171</td></tr> <tr> <td>天津 小湊</td><td>20</td><td>11</td><td>11</td><td>90</td><td>12</td><td>10</td><td>10</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>29</td><td>197</td></tr> <tr> <td>計</td><td>77</td><td>27</td><td>23</td><td>115</td><td>24</td><td>21</td><td>19</td><td>9</td><td>9</td><td>8</td><td>36</td><td>368</td></tr> </tbody> </table>													制度 サー ビス	独 居	認 知 症	介 護 保 険	施 設 入 所	医 療	生 活 全 般	家 計 経 済	高 齢 虐 待	権 利 擁 護	そ の 他	計	鴨川	57	16	12	25	12	11	9	8	7	7	7	171	天津 小湊	20	11	11	90	12	10	10	1	2	1	29	197	計	77	27	23	115	24	21	19	9	9	8	36	368
	制度 サー ビス	独 居	認 知 症	介 護 保 険	施 設 入 所	医 療	生 活 全 般	家 計 経 済	高 齢 虐 待	権 利 擁 護	そ の 他	計																																																				
鴨川	57	16	12	25	12	11	9	8	7	7	7	171																																																				
天津 小湊	20	11	11	90	12	10	10	1	2	1	29	197																																																				
計	77	27	23	115	24	21	19	9	9	8	36	368																																																				
課 題	*高齢者の相談ではサービス利用・介護保険に関する事が圧倒的に多く50%を占めている。総合相談センター・天津小湊が天津保健福祉センターに設置された事により、天津地区の高齢者の介護保険の申請やサービス調整の対応件数が多い。 新規相談件は著しく増加していないが、相談内容が複雑化しており早急に解決に至らない事例が増加。福祉だけの枠では対応が困難となっており、各専門職や広域的な連携を図りながら課題解決に向けて取り組む事が求められている。																																																															

	地域包括支援センター事業
事業名	包括的継続的ケアマネジメント事業（地域ケア会議）
事業概要	高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える地域課題の解決が進められようように開催する。 ①医療、介護等の多職種が協働して、高齢者の個別課題の解決を図るとともに、介護支援専門の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。 ②個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域の共通した課題を明確化する。 ③共有された地域課題の解決に必要な資源開発や地域づくり、さらに介護保険事業への反映などの政策形成につなげる。
本年度目標	個別支援が充実するように個別支援会議を開催し、専門職間の役割分担や課題を共通認識するよう働きかけを行う。また、個別支援会議を実施する事により、介護支援専門員のスキルアップにつなげ地域課題が発見できるような会議としていく。
実績 (H26.9 末)	平成 26 年度 地域ケア会議 7 件
課題	個別課題の解決を行なうための地域会議は開催されているが、個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確にしたり、地域課題の解決に必要な資源開発や地域づくりまでつながるための会議にはなっていない。

	地域包括支援センター事業
事業名	包括的・継続的ケアマネジメント事業（介護支援専門員等の支援）
事業概要	介護支援専門員が地域にて活動しやすくなるように、困難事例への相談対応やスキルアップに努めていく。また、介護支援専門員等を含めたネットワークづくりとして、鴨川市ケアマネジャー連絡協議会及び訪問介護事業連絡協議会を支援する。
本年度目標	地域の介護支援専門員及び訪問介護従事者の交流・情報提供・資質の向上を図るため、鴨川市ケアマネジャー連絡協議会及び訪問介護事業所連絡協議会にて研修会等を行う。困難事例に対して地域ケア会議を開催して、介護支援専門員のスキルアップにつなげていく。
実 績 (H26.9 末)	<u>*鴨川市ケアマネジャー連絡協議会</u> 第 1 回 開催日 平成 26 年 4 月 17 日 内 容 平成 25 年度事業報告・平成 25 年度会計報告等 第 2 回 開催日 平成 26 年 6 月 2 日 内 容 ケアマネジャースキルアップ研修 講 師 日本地域福祉研究所 国光 登志子 氏 第 3 回 開催日 平成 26 年 8 月 21 日 内 容 「オワリ はじまり」～医療のエンディングを考える 講 師 亀田総合病院・安房地域医療センター医師・看護師 <u>*鴨川市訪問介護事業所連絡協議会</u> 第 1 回 開催日 平成 26 年 5 月 29 日 内 容 ・平成 25 年度事業報告・平成 25 年度会計報告等 第 2 回 開催日 平成 26 年 7 月 25 日 内 容 オワリ はじまり」～医療のエンディングを考える 講 師 亀田総合病院緩和ケア科 医師及び看護師 第 3 回 開催日 平成 26 年 9 月 26 日 内 容 透析食について 特別養護老人ホーム 千の風・清澄 末吉 綾子 氏 <u>*介護支援専門員からの相談件数 7 件（内困難事例として対応 2 件）</u>
課 題	介護支援専門員からの相談内容が多種多様化しており、各関係機関との連携を図りながら対応している。介護支援専門員が地域ケア会議等を実施する事によりスキルアップにつなげていく。

	地域包括支援センター事業
事業名	権利擁護事業（成年後見制度利用支援事業）
事業概要	認知症などにより、判断能力の衰えた高齢者について、成年後見制度の利用により適切に財産管理や身上監護ができるよう、成年後見制度の申立費用の助成や後見人等への報酬助成をおこなうもの。
本年度目標	成年後見制度の相談に対応するため、弁護士や司法書士、社会福祉士との連携を密にし、適切なアドバイスや制度利用ができるようにする。成年後見制度利用支援事業の積極的な活用により、市長申し立てや報酬助成などをおこない、成年後見制度の利用が促進できるよう支援をする。
実 績 (H26.9 末)	<市長申し立て件数> 3 件 （補助 0 件、保佐 0 件、後見 3 件） ※候補者 社会福祉士 2 件、司法書士 1 件 <報酬助成> 1 件
課 題	認知症高齢者などの増加により、成年後見制度利用の必要性が年々増している。世帯の核家族化や家族関係の希薄化により、親族申立につながる事例は少なく、市長申し立てにより制度利用につながる事例が増えている。 今年度は高齢者虐待により成年後見制度が必要な相談もあり、より複雑な事例も発生しており、より専門的な対応が必要となっている。また、後見人等のなり手不足も顕著であり、弁護士や司法書士などとの連携が必須となっている。

	地域包括支援センター事業
事業名	権利擁護事業（高齢者虐待防止事業）
事業概要	虐待防止対策委員会、高齢者虐待防止ネットワーク推進会議との連携により、高齢者虐待防止についての活動をおこなっている。 虐待が起こった場合の相談対応ならびに、虐待防止に向けた啓発物の配布や講演会の実施、関係機関による寸劇などを実施する。
本年度目標	高齢者虐待に関する講演会や「虐待防止キャンペーン」などにより、虐待についての周知を一般市民にも図るとともに、継続して相談窓口についても周知する。 関係機関との連携を密にとることにより、虐待発生時には早急な対応ができる関係づくりを図っていく。
実 績 (H26.9 末)	<u>*相談件数 8 件</u> 虐待あり 5 件、虐待なし 1 件、判断できず 2 件 ※判断できず 2 件（コアメンバー会議未実施 1 件、病死 1 件）
課 題	平成 25 年度から福祉総合相談センター・天津小湊が設置され、東条地区、天津小湊地区を担当することとなったが、行政の役割と地域包括支援センターの役割についてあいまいな部分もあり、役割分担の明確化をしていく必要がある。 また、経済的虐待などにより法的な対応を迫られるケースもあり、警察や弁護士などと協力体制の充実を図る必要性を強く感じている。

	地域包括支援センター事業										
事業名	地域包括支援センター・サブセンター委託事業										
事業概要	地域包括支援センターを委託にて設置し、地域に生活をしている高齢者等の生活の困りごとの相談に応じ、生活が支障なく送れるように支援を行う。										
本年度目標	地域住民及び関係機関等への周知を行い、相談がつながりやすい体制づくりを行う。										
実 績 (H26.9 末)	*介護予防ケアマネジメント 二次予防事業対象者 6 件 要支援認定者 293 件 委託 309 件 *総合相談受付 新規相談 197 件 *権利擁護事業 成年後見制度に関する対応 1 件 高齢者虐待対応 4 件 *包括的・継続的ケアマネジメント 困難事例個別支援会議 1 件 *認知症サポーター養成事業 本年度より実施 8/2 鴨川中学生職場体験にて実施 *認知症家族のつどい事業 本年度より実施 10/10 に開催予定。 *時間外相談受付件数 <table><tr><td>高齢</td><td>障害</td><td>児童</td><td>その他</td><td>計</td></tr><tr><td>31</td><td>29</td><td>3</td><td>10</td><td>73</td></tr></table> 福祉総合相談センターでは 24 時間体制にて相談受付を実施。電話で相談受付を行い、必要によっては鴨川市に連絡を入れながら対応を行っています。	高齢	障害	児童	その他	計	31	29	3	10	73
高齢	障害	児童	その他	計							
31	29	3	10	73							
課 題	開設され 2 年目となり関係機関等には周知が図れてきたが、地域住民には十分な周知が図れていない。相談支援等を実施しながら、地域住民等に福祉総合相談センター・天津小湊の役割の周知を図っていく。										

	在宅ケア推進事業
事業名	認知症高齢者家族のつどい事業
事業概要	認知症高齢者の家族の集い「めだかの会」を、市内高齢者相談センターにおいて月1回定期的に行うとともに、年1回は認知症サポート医の講演や認知症の人と家族の会千葉県支部の協力により助言していただきます。
本年度目標	家族の支援のために継続して実施して行く必要があるが、市だけでなく地域にて認知症高齢者を支援している、居宅支援事業所や専門職等との連携を図りながら実施。また、認知症サポート医等との連携を図りながら家族を支援していく。
実 績 (H26.9 末)	5 月 26 日 めぐみの里（意見交換会） 7 名 6 月 20 日 エビハラ （意見交換会） 6 名 7 月 31 日 千の風・清澄（意見交換会） 7 名 8 月 11 日 東条病院 （認知症についての講演会） 53 名 9 月 25 日 鴨川市相談センター（日帰り旅行） 雨天のため中止
課 題	毎月交流会を開催した事により定例化し、認知症を介護している家族の方たちが、悩み事や相談事を遠慮なく話ができる環境づくりが行えた。 平成 25 年度より認知症医療疾患センターの指定を受けた、医療法人明星会に業務委託した事により、認知症サポート医の協力が得られるようになった。

	在宅ケア推進事業
事業名	認知症サポーター養成事業
事業概要	認知症を正しく理解してもらうため、地域にて認知症サポーター養成講座を開催する。認知症の人や家族を見守る応援者になってもらい、地域での生活が継続できるように支援する。
本年度目標	各地域にて認知症サポーター養成講座を開催するため、地域にて認知症ケアを実践している専門職のキャラバンメイトを養成する。委託事業所を増やし、様々な形での養成講座を開催する。
実 績 (H26.9 末)	養成講座開催回数 15 回開催 《認知症サポーター養成数 253 名》 ・福祉総合相談センター 10 回開催 ・社会福祉法人太陽会 2 回開催 ・社会福祉法人健仁会 1 回開催 ・有限会社フローラ 2 回開催
課 題	*昨年度より開催回数が増。民間企業・薬剤師・介護施設・小学校等多種多様な場所でサポーター養成が行えた。 *現状の機関だけでなく、認知症高齢者の支援を実施している民間事業所等に協力を得ながら開催していく。 *今後の取組みとして、高等学校や各地区行事等にて開催を予定しており、昨年度より認知症サポーター養成数が大幅に増加する見込みとなった。

	在宅ケア推進事業
事業名	介護用品支給事業
事業概要	在宅で要介護高齢者や重度障害者を介護している家族への支援として、経済的負担及び精神的負担の軽減を図るため、紙おむつや尿取りパットを無料で支給します
本年度目標	在宅で介護をする家族の負担軽減のため、周知活動を行い対象者への配布が実施できるように配慮する。介護に関する相談やアドバイス等を行い介護者の負担軽減を図る。
実 績 (H26.9 末)	*実対象者数 47 名 6 月支給対象者 38 名 9 月支給対象者 39 名
課 題	該当者に対して年 4 回配布している。本年度より委託事業所による自宅配布を開始したため、介護用品の支給だけでなく介護方法等についてアドバイスできる体制づくりとなった。

	在宅ケア推進事業						
事業名	介護相談員派遣事業						
事業概要	施設入所者からの生活状況や訴えなどを聞き施設サービスが充実する役割を担う介護相談員が、特別養護老人ホーム等の介護保険施設を月に2回程度訪問し、利用者から介護サービスに関する相談を受け、現状把握を行う。【介護相談員8名活動】						
本年度目標	新規施設が開設予定であるため、訪問活動ができるように調整を図る。介護相談員として、介護等に関する知識を習得するために定期的な研修会等を開催していく。						
実 績 (H26.9 末)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
	たいよう	35	24	39	42	26	29
	めぐみの里	38	38	40	35	38	36
	千の風・清澄	60	52	55	45	65	53
	いきいきの家	17	14	25	14	22	8
課 題	平成 25 年度からは、市内 4 施設に訪問し実施している。入所者と面接する事により、施設での生活状況等を聞き、施設側に伝える事で施設サービスの向上が図れ、利用者の方々の声が伝えられるようにしていく。						

	在宅ケア推進事業
事業名	家族介護教室事業
事業概要	介護方法や介護予防等の知識・習得できるよう支援し介護負担の軽減を図るため、高齢者を介護している家族等に対し介護者教室を開催。
本年度目標	施設入所している家族やデイサービス等利用者の家族を対象として、介護者教室の充実を図っていく。各専門職に協力を得て、介護者が参加しやすいプログラム等を考えていく。
実 績 (H26.9 末)	本年度中に実施予定。
課 題	在宅で要介護者を介護している家族等を中心に、介護保険制度や、認定調査（新規・更新時）についての流れや、サービスの種類などを習得し、ベッド上での移動や移乗、おむつ交換の講義や実技指導等を行ったが、介護している家族の都合があわず参加者が少なかった。

	在宅ケア推進事業
事業名	家族介護者支援交流事業
事業概要	介護者同士の悩みや体験を分かち合い、介護に対する不安を解消し介護負担の軽減を図るため、家族介護者支援交流事業（介護者のつどい）を実施する。
本年度目標	今年度も各地区ごとに実施し、家族交流と共に介護技術の習得などを目的として実施。地域にて介護業務等を実施している事業所等にも協力を得ながら開催していく。
実 績 (H26.9 末)	年度末に実施予定。
課 題	毎年社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会へ委託。昨年度は各地区で開催してもらうように依頼し開催することができた。各地区での開催を行い、介護者のニーズを聞きながら実施する。

	地域包括ケア推進事業																																																																																																															
事業名	福祉総合相談事業																																																																																																															
事業概要	従来の子ども・障害者・高齢者の枠組みにとらわれず、DV（ドメスティック・バイオレンス）や生活困窮等も含め、家庭の中の困りごとの相談に応じる。																																																																																																															
本年度目標	福祉総合相談窓口について各地域や関係機関への周知を図っていく。関係機関との連携を図りながら、あらゆる相談への支援が実施できるようにする。																																																																																																															
実績 (H26.9 末)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th></th><th>制度</th><th>施設 入所</th><th>医療</th><th>家計 経済</th><th>不登校</th><th>就労</th><th>権利 擁護</th><th>虐待</th><th>D V</th><th>その他</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">福祉総合相談センター</td><td>児童</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>0</td><td>2</td><td>7</td></tr> <tr> <td>障害者</td><td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>6</td><td>13</td><td>26</td></tr> <tr> <td rowspan="3">福祉相談センター・天津小湊</td><td>児童</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr> <td>障害者</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>32</td><td>35</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>1</td><td>0</td><td>3</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>15</td><td>21</td></tr> <tr> <td></td><td>計</td><td>2</td><td>0</td><td>4</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>5</td><td>6</td><td>18</td><td>102</td></tr> </tbody> </table> （高齢者の実績は、「地域包括支援センター事業」に掲載。）														制度	施設 入所	医療	家計 経済	不登校	就労	権利 擁護	虐待	D V	その他	計	福祉総合相談センター	児童	0	0	0	0	1	0	0	4	0	2	7	障害者	2	0	1	0	0	0	2	1	0	3	9	その他	0	0	3	2	0	2	0	0	6	13	26	福祉相談センター・天津小湊	児童	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4	障害者	0	1	2	0	0	0	0	0	0	32	35	その他	1	0	3	1	0	1	0	0	0	15	21		計	2	0	4	2	1	2	2	5	6	18	102
		制度	施設 入所	医療	家計 経済	不登校	就労	権利 擁護	虐待	D V	その他	計																																																																																																				
福祉総合相談センター	児童	0	0	0	0	1	0	0	4	0	2	7																																																																																																				
	障害者	2	0	1	0	0	0	2	1	0	3	9																																																																																																				
	その他	0	0	3	2	0	2	0	0	6	13	26																																																																																																				
福祉相談センター・天津小湊	児童	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4																																																																																																				
	障害者	0	1	2	0	0	0	0	0	0	32	35																																																																																																				
	その他	1	0	3	1	0	1	0	0	0	15	21																																																																																																				
	計	2	0	4	2	1	2	2	5	6	18	102																																																																																																				
課題	精神的に障害のある方が地域で生活することの難しさや家庭内暴力の相談・通告が目立ってきている。経済的に困窮しているが、就労や収入にうまく結びつかない例もあり、命を支えるために、無料の食品提供制度の利用を手配した。 家族間の感情のもつれに端を発している問題が多くなっており、対応の仕方、タイミング等、迅速かつ慎重な動きが求められている。そのため、関係機関や地域の方との連携が、一層重要である。																																																																																																															

	地域包括ケア推進事業
事業名	地域づくり推進事業（地域とのネットワークづくり）
事業概要	地域住民をはじめ、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、ボランティア、民間事業者等の団体等地域の支えあい、見守り活動につながる福祉のネットワークづくりに努める。
本年度目標	社会福祉協議会との連携を図りながら各地区サポーターとへの活動への協力を行う。地域での見守り強化のため、民間事業所との見守り協定締結などを図りながら周知を図っていく。
実 績 (H26.9 末)	◎地区ボランティアの活動支援 *天津小湊地区…天津小湊介護予防サポーター定例会に参加 内容…四方木清澄交流会での防災マップ作成や、「医療のエンディングを考える」研修会を開催。 *江見地区…なの花サポーター定例会に参加 内容…地区サロン活動や地区での見守りの活動を支援。 *長狭地区…各地区ごとにサポーターとの意見会を実施。 内容…昨年度実施した講座の受講生にフォローアップ講座を実施。各地区での課題を整理した。サロン活動を支援。 ◎見守り協定締結事業所 ・株式会社ジェネッツ千葉本店（水道検針）・生活協同組合コープみらい ・館山信用金庫 ・千葉県環境保全センター鴨川部会（株式会社東工業、有限会社高喜工業、有限会社カワナ管理、株式会社新倉、有限会社ウエハラエンタープライズ、有限会社みまつ産業、株式会社ケイティエス） ・房総信用金庫・セブンイレブン・パスシステム・ワタミ
課 題	地区ボランティアへの活動支援を実施するにあたり、社会福祉協議会と協働しながら実施。地区ボランティアが活動意欲が高まっており、地活動となるように支援していく。 見守り協定事業所が増加していることから、各事業所と連携を図りやすくなよように関係づくりを図っていく。

	地域包括ケア推進事業
事業名	地域づくり推進事業（専門職とのネットワークづくり）
事業概要	医療・介護等の専門職の連携が図やすくなるように、現在の課題や問題点をお互いの立場で意見交換しながら課題解決に向けての仕組づくりを行う。
本年度目標	医療連携会議を定期開催する。本年度は在宅介護をする上で課題となる薬について、薬剤師との連携が図りやすくなるよう体制づくりを行う。 【鴨川医療連携会議 参加機関】 亀田総合病院（地域連携室）、亀田医療大学、市内訪問看護ステーション、鴨川市（国保病院・福祉課・福祉総合相談センター）鴨川市社会福祉協議会
実 績 (H26.9 末)	*医療連携会議 ・毎月 1 回定期開催 薬剤師との意見会の企画等を検討。10 月 19 日には在宅医療・介護連携研修会を開催。11 月には市内介護サービス事業所等を対象とした口腔ケア研修会を開催予定。 *薬剤師との意見交換 7 月 16 日 医師・看護師・薬剤師・介護支援専門員等による意見交換会を実施。 *在宅医療・医療介護研修会 10 月 19 日 医療職と介護職が連携を図りやすくするための研修会を開催。薬をテーマをして薬剤師との連携をはかりやすき事を目的に開催。
課 題	医療連携会議を開催する事により、医療と介護が連携を図る上での課題が具体化し連携が図りやすい体制となってきた。研修会等を通じて、連携が必要であることの周知を図っていく。

	地域包括ケア推進事業
事業名	生活困窮者支援モデル事業
事業概要	生活保護に至っていない生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」を全国的に拡充し、包括的な支援体系を創設するもの。(厚生労働省より)
本年度目標	平成25年度にモデル事業を実施した自治体は、全国で68であったが、今年度は、6月時点で174団体(県、指定都市、一般市等)が追加されている。 本市においては今年度4月からモデル事業を実施しており、27年4月の法施行に向けて、生活困窮者の支援、事業の啓発、就労の場の開拓等準備を行う。
実 績 (H26.9 末)	対応件数 11 件 (うち、同意書あり 5 件) *福祉総合相談センターが窓口となっているので、疾病や虐待等、生活困窮以外の相談経路から本モデル事業の対応となっている件数が多く、本人や家族の生活を多方面から支援している。今回は、稼働年齢層を対象として、モデル的に対応している件数を実績としています。
課 題	本人に生活困窮の自覚が乏しく、支援者と共に自分の生活を考えて行こうという所まで気持ちを持って行くことが難しい。また、対象者には精神疾患を持つ方が多く、社会とのつながりも含め支援していく必要がある。支援者には様々な知識や広がりのある対応が求められる。

	地域包括ケア推進事業						
事業名	介護度重度化防止対策事業						
事業概要	地域で生活する高齢者が、できる限り要支援、要介護状態になることを予防し、または、重度化しないように、介護予防に資する講演、運動等の取り組みを支援する。						
本年度目標	昨年度から福祉センター利用者を対象に月 1 回活動を実施している。今後も、福祉センター利用者の多くの方に参加してもらえよう、活動を検討している。						
実 績 (H26.9 末)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
	福祉センター		13	11	13	15	13
	サロン草の実		13			12	16
	大日サロン	13		13		12	
	サロンいこい				21		
	(参加人数)						
課 題	月 1 回の予防体操では、効果がないため、毎日継続して体操をしていただけるように検討しながら、内容を考えていきたい。各地区サロンにて実施しているため、地区ボランティアにも介護予防体操を覚えてもらい普及するように努めていく。						

平成26年度介護予防プランの居宅支援事業所への委託について

① 介護予防支援業務の指定居宅介護支援事業所への委託について（新規）

◎鴨川市福祉総合相談センター

法 人 名		居宅介護支援事業所名	住 所	指定事業所番号
1	社会福祉法人白寿会	特別養護老人ホーム微笑の里	千葉県館山市広瀬 667-1	1271000885
委託開始年月日	平成 26 年 9 月 1 日	委託理由…同施設内のデイサービス利用希望。同一施設内での介護予防支援を希望したため。		

◎鴨川市福祉総合相談センター・天津小湊

法 人 名		居宅介護支援事業所名	住 所	指定事業所番号
1	社会福祉法人健仁会	千の風・清澄ケアプランセンター	千葉県鴨川市天津 3466	1272800572
委託開始年月日	平成 26 年 7 月 1 日	委託理由…平成 26 年 7 月 1 日付けにて、居宅介護支援事業所として指定を受けており介護予防支援を担当の申し出があったため。		
2	医療法人社団威風会	居宅介護支援事業所栗の郷	千葉県四街道市栗山 906-1	1273300309
委託開始年月日	平成 26 年 8 月 1 日	委託理由…四街道市に居住する要支援認定者より、上記居宅支援事業所での担当希望の申出があったため。		
3	生活協同組合パルシステム神奈川	ゆめコープぬくもり横浜北	神奈川県横浜市緑区北八朔町 160	1473302048
委託開始年月日	平成 26 年 10 月 1 日	委託理由…横浜市に居住する要支援認定者より、上記居宅支援事業所での担当希望の申出があったため。		